令和6年度入学者

生産環境科学教育コース

凡例	科目区分	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目
	再掲は薄色で表示	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目

	学修目標		修士１年				修士２年				博士１年				博士２年				博士3年			
区分	修士課程	学修目標（博士課程）	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
実践	D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。 D-1.学際的知識を社会に還元する意欲を有する。	D-2. 複眼的な視点を有し、多様かつ斬新な問題解決法を提案することができる。 D-1. 先進的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）（隔年）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								演示技法Ⅱ(1)											
									生産環境科学プロジェクト演習(2)		国際演示技法(2)											
			インターンシップ(1)								インターンシップ(2)											
			生産環境科学テーチング演習(2)								プロジェクト演習(2)											
			演示技法Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅰ(1)											
			演示技法Ⅱ(1)								国際交流演習Ⅱ(1)											
			国際交流演習Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅲ(1)											
			国際交流演習Ⅱ(1)								国際交流演習Ⅳ(1)											
			国際交流演習Ⅲ(1)								生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
			国際交流演習Ⅳ(1)								生産環境科学特別演習（5）											
			国際演示技法(2)																			
							生産環境科学特別研究第二(6)															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
			生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
統合・創造能力（評価・創造）	C-2. 農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2.農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）（隔年）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			生産環境データ解析論(1)								演示技法Ⅱ(1)											
			熱と流れの科学(1)								国際演示技法(2)											
			新産業創出(2)								インターンシップ(2)											
					灌漑利水学特論(1)						プロジェクト演習(2)											
					水環境解析学特論(1)						国際交流演習Ⅰ(1)											
			地盤環境工学特論(1)								国際交流演習Ⅱ(1)											
					土壌学特論(1)						国際交流演習Ⅲ(1)											
					農業気象学特論(1)						国際交流演習Ⅳ(1)											
					生産システム設計学特論(1)						生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
統合・創造能力（評価・創造）	C-2. 農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2.農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。			ポストハーベスト工学特論(1)						生産環境科学特別演習（5）											
			農業情報学特論(1)																			
			生産環境科学プロジェクト演習																			
									生産環境科学演習第二(2)													
			インターンシップ(1)																			
			生産環境科学テーチング演習(2)																			
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅰ(1)																			
			国際交流演習Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅲ(1)																			
			国際交流演習Ⅳ(1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
専門的能力（適用・分析）	C-1. 対象を数理的に解析する方法、物理現象、生物活動、化学現象について業務に必要なレベルで理解し、新規の開発に利用したり、実験や計算の結果を解析・評価して第三者評価に耐える形で解説できる。	C-1. 現象を数理的に解析する方法、物理現象、生物活動、化学現象について高度なレベルで理解し、新分野の開拓に利用したり、実験や計算の結果を解析・評価して第三者に評価される形で解説できる。			灌漑利水学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
					水環境解析学特論(1)						演示技法Ⅰ(1)											
			地盤環境工学特論(1)								演示技法Ⅱ(1)											
					土壌学特論(1)						国際演示技法(2)											
					農業気象学特論(1)						インターンシップ(2)											
					生産システム設計学特論(1)						国際交流演習Ⅰ(1)											
					ポストハーベスト工学特論(1)						国際交流演習Ⅱ(1)											
			農業情報学特論(1)								国際交流演習Ⅲ(1)											
					生産環境科学演習第一(2)						国際交流演習Ⅳ(1)											
									生産環境科学演習第二(2)		生産環境科学特別演習（5）											
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
知識・理解	B-3.物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 物理学、数学、生物学および化学に関する専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。	熱と流れの科学(1)								生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
					生産環境科学演習第一(2)						演示技法Ⅰ(1)											
									生産環境科学演習第二(2)		演示技法Ⅱ(1)											
			演示技法Ⅰ(1)								国際演示技法(2)											
			演示技法Ⅱ(1)								インターンシップ(2)											
			生産環境科学特別研究第一（6）								プロジェクト演習(2)											
							生産環境科学特別研究第二（6）				国際交流演習Ⅰ(1)											
											国際交流演習Ⅱ(1)											

知識・理解	B-3.物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 物理学、数学、生物学および化学に関する専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。									国際交流演習Ⅲ(1)											
											国際交流演習Ⅳ(1)											
											生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
											生産環境科学特別演習（5）											
	B-2.数学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。		生産環境データ解析論(1)																			
			熱と流れの科学(1)																			
					生産環境科学演習第一(2)																	
									生産環境科学演習第二(2)													
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
	B-1.生物学および化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。		生産環境データ解析論(1)																			
					生産環境科学演習第一(2)																	
									生産環境科学演習第二(2)													
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
主体的な学び・協働	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								演示技法Ⅱ(1)											
					生産環境科学演習第一(2)						国際演示技法(2)											
									生産環境科学演習第二(2)		インターンシップ(2)											
			インターンシップ(1)								プロジェクト演習(2)											
			生産環境科学テーチング演習(2)								国際交流演習Ⅰ(1)											
			演示技法Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅱ(1)											
			演示技法Ⅱ(1)								国際交流演習Ⅲ(1)											
			国際交流演習Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅳ(1)											
			国際交流演習Ⅱ(1)								生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
			国際交流演習Ⅲ(1)								生産環境科学特別演習（5）											
			国際交流演習Ⅳ(1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
主体的な学び・協働	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。	生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
	A-1.農業工学および環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組むことができる。	A-1.農業工学および環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組み、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			新産業創出(2)								演示技法Ⅱ(1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								プロジェクト演習(2)											
					生産環境科学演習第一(2)						生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
									生産環境科学演習第二(2)		生産環境科学特別演習（5）											
			インターンシップ(1)																			
			生産環境科学テーチング演習(2)																			
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅰ(1)																			
			国際交流演習Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅲ(1)																			
			国際交流演習Ⅳ(1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
			生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
区分	修士課程	学修目標（博士課程）	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
学修目標	学修目標		修士１年				修士２年				博士１年				博士２年				博士３年			
課程の時期区	課程の時期区分																					
アセスメント・プラン			修士論文発表後の学生の自己評価を行う								中間報告および博士学位論文発表後に学生による自己評価を行う。											

令和７年度以降入学者

生産環境科学教育コース

凡例	科目区分					
	科目区分	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目
	再掲は薄色で表示	コア科目	アドバンス科目	課題プロジェクト演習科目	演習科目	特別研究科目

	学修目標		修士１年				修士２年				博士１年				博士２年				博士3年			
区分	修士課程	学修目標（博士課程）	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
実践	D-2.複眼的な視点を有し、多様な問題解決法を提案することができる。 D-1.学際的知識を社会に還元する意欲を有する。	D-2. 複眼的な視点を有し、多様かつ斬新な問題解決法を提案することができる。 D-1. 先進的・学際的な知識を社会に還元する能力を有する。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）（隔年）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法 I (1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								演示技法 II (1)											
									生産環境科学プロジェクト演習(2)		国際演示技法(2)											
			インターンシップ(1)								インターンシップ(2)											
			生産環境科学テーチング演習(2)								プロジェクト演習(2)											
			演示技法 I (1)								国際交流演習 I (1)											
			演示技法 II (1)								国際交流演習 II (1)											
			国際交流演習 I (1)								国際交流演習 III (1)											
			国際交流演習 II (1)								国際交流演習 IV (1)											
			国際交流演習 III (1)								生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
			国際交流演習 IV (1)								生産環境科学特別演習（5）											
			国際演示技法(2)																			
							生産環境科学特別研究第二(6)															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
			生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
統合・創造能力（評価・創造）	C-2. 農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2.農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）（隔年）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法 I (1)											
			生産環境データ解析論(1)								演示技法 II (1)											
			熱と流れの科学(1)								国際演示技法(2)											
			新産業創出(2)								インターンシップ(2)											
					灌漑利水学特論(1)						プロジェクト演習(2)											
				水環境解析学特論(1)							国際交流演習 I (1)											
			地盤環境工学特論(1)								国際交流演習 II (1)											
					土壌学特論(1)						国際交流演習 III (1)											
					農業気象学特論(1)						国際交流演習 IV (1)											
					生産システム設計学特論(1)						生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
統合・創造能力（評価・創造）	C-2. 農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発に利用したり、実問題の解決策を提案することができる。	C-2.農業工学及び環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野についての深い理解に基づいて問題点を見出し、物理学、数学、生物学の知識を統合して導かれた学際的知識を、科学の方法と論理的思考方法を駆使して、研究・開発、実問題の発見・解決、及び新分野の開拓に利用できる。			ポストハーベスト工学特論(1)						生産環境科学特別演習（5）											
			生産環境科学プロジェクト演習																			
									生産環境科学演習第二(2)													
			インターンシップ(1)																			
			生産環境科学テーチング演習(2)																			
			演示技法 I (1)																			
			演示技法 II (1)																			
			国際交流演習 I (1)																			
			国際交流演習 II (1)																			
			国際交流演習 III (1)																			
			国際交流演習 IV (1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
専門的能力（適用・分析）	C-1. 対象を数理的に解析する方法、物理現象、生物活動、化学現象について業務に必要なレベルで理解し、新規の開発に利用したり、実験や計算の結果を解析・評価して第三者評価に耐える形で解説できる。	C-1. 現象を数理的に解析する方法、物理現象、生物活動、化学現象について高度なレベルで理解し、新分野の開拓に利用したり、実験や計算の結果を解析・評価して第三者に評価される形で解説できる。			灌漑利水学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
				水環境解析学特論(1)							演示技法 I (1)											
			地盤環境工学特論(1)								演示技法 II (1)											
					土壌学特論(1)						国際演示技法(2)											
					農業気象学特論(1)						インターンシップ(2)											
					生産システム設計学特論(1)						国際交流演習 I (1)											
					ポストハーベスト工学特論(1)						国際交流演習 II (1)											
											国際交流演習 III (1)											
					生産環境科学演習第一(2)						国際交流演習 IV (1)											
									生産環境科学演習第二(2)		生産環境科学特別演習（5）											
			演示技法 I (1)																			
			演示技法 II (1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
知識・理解	B-3.物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 物理学、数学、生物学および化学に関する専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。	熱と流れの科学(1)								生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
					生産環境科学演習第一(2)						演示技法 I (1)											
									生産環境科学演習第二(2)		演示技法 II (1)											
			演示技法 I (1)								国際演示技法(2)											
			演示技法 II (1)								インターンシップ(2)											
			生産環境科学特別研究第一（6）								プロジェクト演習(2)											
							生産環境科学特別研究第二（6）				国際交流演習 I (1)											
											国際交流演習 II (1)											

知識・理解	B-3.物理学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。	B. 物理学、数学、生物学および化学に関する専門的知識について、新分野の開拓に応用できる程度に深く理解し、説明することができる。									国際交流演習Ⅲ(1)											
											国際交流演習Ⅳ(1)											
											生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
											生産環境科学特別演習（5）											
	B-2.数学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。		生産環境データ解析論(1)																			
			熱と流れの科学(1)																			
					生産環境科学演習第一(2)																	
									生産環境科学演習第二(2)													
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
	B-1.生物学および化学に関する基礎的知識を理解し、説明できる。		生産環境データ解析論(1)																			
					生産環境科学演習第一(2)																	
									生産環境科学演習第二(2)													
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
主体的な学び・協働	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								演示技法Ⅱ(1)											
					生産環境科学演習第一(2)						国際演示技法(2)											
									生産環境科学演習第二(2)		インターンシップ(2)											
			インターンシップ(1)								プロジェクト演習(2)											
			生産環境科学テーチング演習(2)								国際交流演習Ⅰ(1)											
			演示技法Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅱ(1)											
			演示技法Ⅱ(1)								国際交流演習Ⅲ(1)											
			国際交流演習Ⅰ(1)								国際交流演習Ⅳ(1)											
			国際交流演習Ⅱ(1)								生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
			国際交流演習Ⅲ(1)								生産環境科学特別演習（5）											
			国際交流演習Ⅳ(1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
主体的な学び・協働	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力を涵養し、周囲と協調し、共同して問題解決にあたることができる。	A-2. 自分の考えを相手に正しく伝えるための情報処理能力、コミュニケーション能力、教育力、指導力を涵養し、リーダーとして問題解決にあたることができる。	生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
	A-1.農業工学および環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組むことができる。	A-1.農業工学および環境科学、さらにそれに関係する自然科学諸分野における非専門領域を含む幅広い学問分野に関心を持って、自ら進んで問題に取り組み、解決し、新分野の開拓に貢献することができる。			生物資源環境科学特論(1)						生産環境科学特別実験（中間報告）（2）											
			生産環境科学特論（E科目）								ティーチング演習(2)											
			生産環境の科学(1)								演示技法Ⅰ(1)											
			新産業創出(2)								演示技法Ⅱ(1)											
			生産環境科学プロジェクト演習								プロジェクト演習(2)											
					生産環境科学演習第一(2)						生産環境科学特別講究（博士論文研究）（5）											
									生産環境科学演習第二(2)		生産環境科学特別演習（5）											
			インターンシップ(1)																			
			生産環境科学テーチング演習(2)																			
			演示技法Ⅰ(1)																			
			演示技法Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅰ(1)																			
			国際交流演習Ⅱ(1)																			
			国際交流演習Ⅲ(1)																			
			国際交流演習Ⅳ(1)																			
			国際演示技法(2)																			
			生産環境科学特別研究第一（6）																			
							生産環境科学特別研究第二（6）															
			生産環境科学特論第一(1)（隔年）																			
			生産環境科学特論第二(1)（隔年）																			
区分	修士課程	学修目標（博士課程）	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
学修目標	学修目標		修士１年				修士２年				博士１年				博士２年				博士３年			
課程の時期区	課程の時期区分																					
アセスメント・プラン			修士論文発表後の学生の自己評価を行う								中間報告および博士学位論文発表後に学生による自己評価を行う。											